

知事記者会見（平成21年5月25日）

●知事発表

なし

●幹事社質問

- (1) 韓国訪問にあたって
- (2) 新型インフルエンザの対応について

●その他の質問

- (1) 北朝鮮の地下核実験について
- (2) 6月議会に向けて

時間：13：00～13：24

場所：県庁プレゼンテーションルーム

(幹事社)

知事の方からの発表事項はないということですので、幹事社の方から2つ、先に質問をさせていただきます。

1点目ですが、来月の初めから韓国の方に訪問されるというふうに伺っておりますが、改めて日程、訪問先、それから今回のねらい等について教えてください。

(知事)

はい。6月1日にたちまして3日に帰ってまいります。主な業務の内容ですけれども、まずは、国際為替の状況だとか今のインフルエンザの問題で日本国内全般的に海外便（搭乗率）が落ちておりますが、それはそれとして、大韓航空の仁川秋田間が夏季においてはそのまま継続されるということ、この後、冬季運行について大韓航空での検討が7月頃に始まる訳でありますので、まずは私どもとしてはこの継続運行についての要請と、そして、今年から、市町村振興協会の修学旅行等の青少年交流についてあちら（韓国）からおいでになる方も一部対象になるという助成措置を始めておりますので、そのPRです。もう一つは、秋田市に空港があるものですから市長時代にも何回も行ってまいりました。韓国あるいは中国等はトップセールスを非常に大切にしておりますので、知事になった最初の形での挨拶も兼ねてということになります。

そして、今の経済状況によりまして若干ぶれはありますけれども、コンテナ便、海の方ですけれども、これがずっと伸びてきております。また、今後もコンテナ基地としての秋田港の役割を踏まえて、それをいろいろな面で活性化に結びつけていかなければいけないという県の大きな方針もございますので、船会社等への最初の挨拶ということにもなろうかと

思います。また、一部中国との直行便が望まれているところもありますので、そういう将来展望も含めて船会社といろいろやりとりをしてまいりたいということです。

大変駆け足ですけれども、まず行ってまいりたいと思います。

(幹事社)

この件に関して質問がある社はお願いします。もしあれば、また後ほどでも。あともう1点、幹事社から。新型インフルエンザへの対策ですが、5月の臨時会でも関連の補正予算あげられていましたけれども、現時点で追加の対策等検討をされているかということと、今の時点で県民の方に伝えておきたいこと、呼びかけたいこと等ありましたらお願いします。

(知事)

はい。国の対処方針が、大阪等の蔓延地域に関するルールが若干緩和するような形になっていますが、それ以外の地域については、できるだけ感染が広がらないことが最大のポイントで、これまでのとおりの警戒水準でということであります。秋田は、まだ県内や隣接県において出ていませんので、今までどおりの対策本部を継続しながら対応していくという方針には変わりはありません。引き続き警戒体制を取っていきます。

ただ、全般的にここへ来て感染者数の増え方もやや少し減少してきております。だからといってこれで終息するかしないかは全く分からないところでもありますけれども、全体的に日本全国の取り組みが功を奏してきたのかなど、そういう感じもいたします。引き続き冷静に対応していただきながら、熱が出たり風邪の症状等があった場合は、まずは発熱相談センターに、保健所等に電話で相談していただいて、それから指示を受けて診察をしていただくということ、これには変わらない訳でありますので、ここはよろしく願いたいと思います。

(幹事社)

分かりました。この件に関して各社はございますか。
じゃあ、まずこの2つの件以外も含めまして質問ございましたら、各社自由にどうぞ。

(知事)

ちなみに、新型インフルエンザ感染確定の詳細検査、PCRというんですが、これが昨日現在、県内では18件あり、結果はすべて陰性ということであります。県の健康環境センターでの検査結果であります。

熱や風邪の症状があるということで、先ほどいったルールによって検査を実施したということでもあります。もし、この件で詳細が必要であれば担当課長の方をお願いしたいと思います。

韓国に1日から行くんですけれども、韓国の前大統領がああいう形でお亡くなりになったり、先ほど北朝鮮の地下核実験のニュースも飛び込んできまして、まあ次から次へといろいろなことが起きております。

(記 者)

1つ簡単な確認ですが、韓国に行かれるのは秋田空港からですか。帰りについては水曜日、秋田空港、ソウル便ない日でありますけれども、どのようなルートで。

(知 事)

はい。行きは秋田空港です。そのまま4日までいることができればいいんですけども、仕事も詰まっていますので、帰りは金浦、羽田という形で帰ってきます。

(記 者)

分かりました。あともう1点ですが、今ちょっとお話がありました、北朝鮮が核実験を行ったという報道がなされておりますけれども、比較的、北朝鮮から近い秋田県として、この事実について、どのように受け止めていらっしゃるのかということについて教えてください。

(知 事)

先般の人工衛星もどきのミサイル実験について、県民の皆さんも大変憤りを感じたところであろうと思います。また、2006年に引き続き核実験、これについては極めて近い場所でありまして、北朝鮮という国のそういう体制からしても大変私も心配をしているところでありまして。この核拡散というのは極めて許されないことでありまして、これについては極めて強い憤りを感じております。

これについて、国が官邸に対策室を立ち上げております。秋田県としても災害連絡室、これを立ち上げました。

今の時点で直接的な被害というのは想定できませんけれども、空中の塵に含まれる放射能の関係については定時的に検査をしておりますので、そういうことについて改めて注意をするようにということでありまして。

(記 者)

災害連絡室というのは既に立ち上げたということなんですか。

(知 事)

はい、立ち上げております。政府の発表があつて速やかにということでありまして。

(記 者)

今回の核実験を行ったという発表を受けてということですね。

(知 事)

速やかにですね。

(記 者)

連絡室になりますとトップは知事公室長・・・。

(知 事)

これは総合防災課長です。

(記 者)

今の関連なんですが、あの空気中の検査をしているというのは、どういった機関がやられてるんですか。

(知 事)

県健康環境センターです。

(記 者)

そのセンターが日常的にやってるものより注意して見るということですか。

(知 事)

検査は定時的にやっています。数値がある程度ぶれば万が一ということが考えられますので。

(記 者)

あともう1点確認ですが、連絡室は立ち上げたけれども特別、会議等は開いてないということでしょうか。

(知 事)

はい。このあと、国との連絡等があるのかどうか、特に今お話しした空中の放射能の数値が万が一上がった場合どうするのかということもありますので。

(記 者)

そうすると情報収集とかそういったことですか。

(知 事)

そうですね、それが中心です。今のところ、これについて具体的な対応という話は国でもございません。当然、近いところの沿岸部から日本海に至る相当な地点で米軍と自衛隊の観測機が調べるのは通常なことでしょうから、そういうものも場合によっては政府から発表されることもあり得ます。それと我々の方は独自でということですね。

(記 者)

秋田県の立ち上げというのは何時何分の立ち上げになるんでしょうか。

(知 事)

国が立ち上げたと同時ですから11時45分。

(記者)

知事、先ほどの訪韓の中で中国との直行便のお話に触れられました。見通として今回の訪韓で何か進展等ございますか。

(知事)

荷物の動きが、こういう経済危機の中でどうなるかということ、いわゆるコマーシャルベースに乗らないとなかなか難しいんですけども、まあそういうことで今回、秋田県内の荷物、貨物を扱う企業の方も一緒にまいります。あちらで一緒に会うということになりますけれども、そういう中で官民をあげて状況報告と、今後のその展望についていろいろと話し合ってきたいということです。

(幹事社)

ほかは質問よろしいですか。

(知事)

来週は、これ(会見)ないのか。来週、月火水とないものすから、再来週ですね。その時にまた、韓国に行った時の話を。

(記者)

来週いच्छゃらないということであれば、そのあと間もなくまた6月定例議会ということで迫ってきますけれども、初めての定例議会ということになります。今日の会見は、議会内示前としては最後ということでしょうから、どのような形を今のところ想定しておられるか可能な範囲で教えてください。

(知事)

あの、一つは当然議会との質疑、一般質問等があると思います。総括質疑もございまして、多分、私の基本的な政治姿勢だとか、マニフェストの中の考え方等についてのやりとりが当然あるかと思っています。この間の臨時議会が最初の議会でしたけれども、(議会との)やりとりは6月議会が初めてですので、一生懸命やってまいりたいと思います。様々な政策的な大きなものについては一定の方向性等についてこちらからもお話ししながら、そういうものを中心としたやりとりになるのかなと思っております。それまで、主要なものについては一定の方向性を庁内の中で議論しながらまとめていかなければならないと、そういうことであります。非常にわずかの期間で忙しいことになりかと思っています。

(記者)

今週、6月議会の予算査定が始まると思いますけれども、今回は県単事業なんかでも費用対効果をお考えになってやっていくというふうなことを先日おっしゃってましたけれども、どういうふうな形になるものですか。

(知 事)

あの、まだ具体的な査定まで至っておりませんが、様々なその経済対策事業でも地域によって大分、状況が違いますので、ある程度そういう地域的な状況も見ながら、単一的にやればよいもの、あるいは地域的な形で相当めりはりをつけなきゃならないもの、そういうものがあるのか、そこら辺は十分調べておくようにということで、朝の会で指示をしました。

(記 者)

なお具体的なものについては、その時になってみないと・・・。

(知 事)

はい。今積み上げています。特にやはり経済対策ですので、秋田県全体が、全く同じ状況ではありません。その地域によって状況が違いますので、できるだけ可能なものについてはその地域の状況に合った形での対策というものが必要ではなかろうかと思えます。それが、どのくらい生かせるのか別にいたしまして、そういう点も十分踏まえて精査するようにと指示したところであります。